

3. 地域活動の支援について

(1) 地域活動の現状

a. 河川愛護活動(第3・4回一宮川河口クリーン活動)



H. 20. 3. 9には、上流域の長南町や長柄町の住民を含めた300人が参加して、4 haの干潟の清掃が行われました。また、H21. 10. 25にも引き続いて、清掃活動が実施されています。



ここからは、3. 地域活動の支援についてです。

一宮川流域では、地域住民による河川愛護活動が行われています。

一宮川の河口では、「南九十九里浜の自然を見守る会(堀内正範会長)」が平成20年3月9日に第3回目の一宮川河口のクリーン作戦を行いました。

この作戦には流域全体から約300人の参加があり、40リットルのゴミ袋で約300袋分が回収されました。

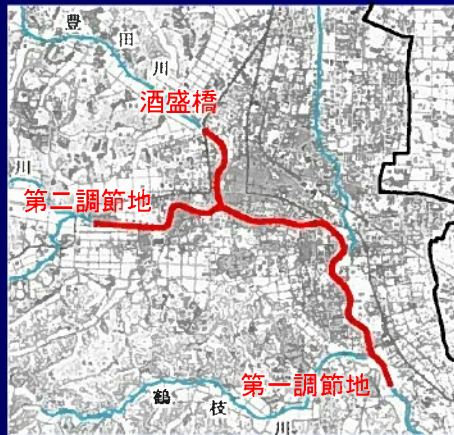
また、平成21年10月25日にも引き続いて、清掃活動が実施されています。

3. 地域活動の支援について

(1) 地域活動の現状

a. 河川愛護活動(一宮愛護会の活動)

H21. 2. 7には、一宮川愛護会の呼びかけで、総勢670人が参加して一宮川と豊田川の河川清掃が行われました。また、H22. 2. 6にも引き続いて、清掃活動が実施されています。



一宮川愛護会では、河川にゴミを捨てない運動の一環として、河川美化に努める目的で毎年2月に河川の清掃活動を行っています。

昨年は去る2月7日に、流域の27の自治会や日立ディスプレイ従業員、市役所職員の総勢670人が参加して行われました。

清掃範囲は、一宮川では第一調節池から第二調節池までの6km、豊田川では茂原橋から酒盛橋までの1.1kmで、約2 t のゴミが回収されました。

また、平成22年2月6日にも引き続いて、清掃活動が実施されました。

3. 地域活動の支援について

(1) 地域活動の現状

a. 河川の実護活動(埴生川の地域住民による除草作業)



長南町の埴生川では、原則として7月第一日曜日に川をきれいにする運動として、河川の堤防周辺の除草が行われています。

平成20年は8地区で、延べ218人が参加して、3.15kmの区間の23,280m²の除草が行われました。

また、平成21年7月にも引き続いて、長南町沿川地域住民から構成される埴生川をきれいにする会によって、除草作業が実施されています。

3. 地域活動の支援について

(1) 地域活動の現状

b. 川のイベント(親子ハゼ釣り大会)



H20. 9. 28に新一宮大橋下流で親子ハゼ釣り大会が行われ、97人の親子が参加しました。
また、H21. 9にも引き続いて、親子ハゼ釣り大会が実施されています。



平成20年9月28日には、一宮町青少年相談員主催による親子ハゼ釣り大会が新一宮大橋下流の階段式護岸を利用して行われました。

当日は競技開始に先立って河川清掃を行い、競技開始となりました。

参加者は97人の親子で、優勝者は67匹、約1kgの釣果でした。

また、平成21年9月にも引き続いて、一宮町青少年相談員主催による親子ハゼ釣り大会が実施されました。

3. 地域活動の支援について

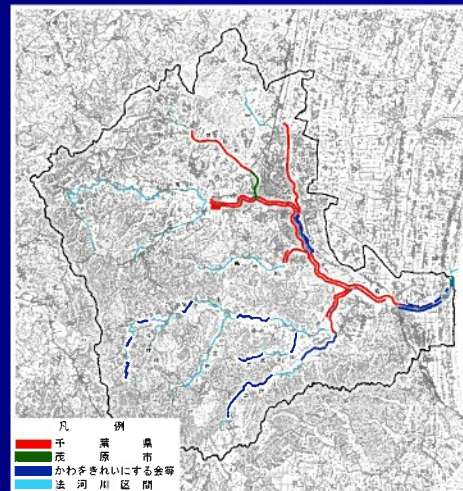
(2) 現状の地域活動に対する評価と課題

【評価】

・現在、河川の愛護活動や川のイベント等が、地域住民によって取り組まれているが、水系全体としては概ね点の状態である。

【課題】

・地域住民による活動が、点から一本の線へと繋がる様に支援を行うとともに、それらを一体的かつ計画的に管理するシステムが必要である。



これら現状の地域活動に対する評価として、右の図より、水系全体としては概ね点の状態であると判断できます。

地域住民による活動が点から一本の線へと繋がる様なシステムが必要です。千葉県では、繋がらない理由について下記のように考えます。

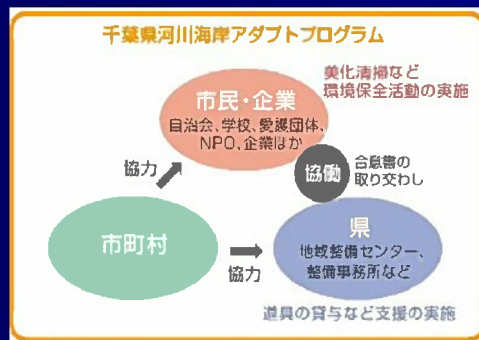
- ① 住民相互及び官民の連携・協働について連絡調整する組織がない。
- ② 地域と河川管理者（一県）が情報交換する場が十分でない。
- ③ 地域でできることは地域でやっていこうという機運を高める施策がない。
- ④ アダプト制度の利用実績が低い等、県側の広報・周知が不足している。

3. 地域活動の支援について

(3) 地域活動の支援の事例

【アダプト制度(プログラム)の周知など】

アダプト制度とは、一定区間の公共の場所において市民団体や企業が美化活動(清掃)を行い、行政がこれを支援する制度



地域活動の例



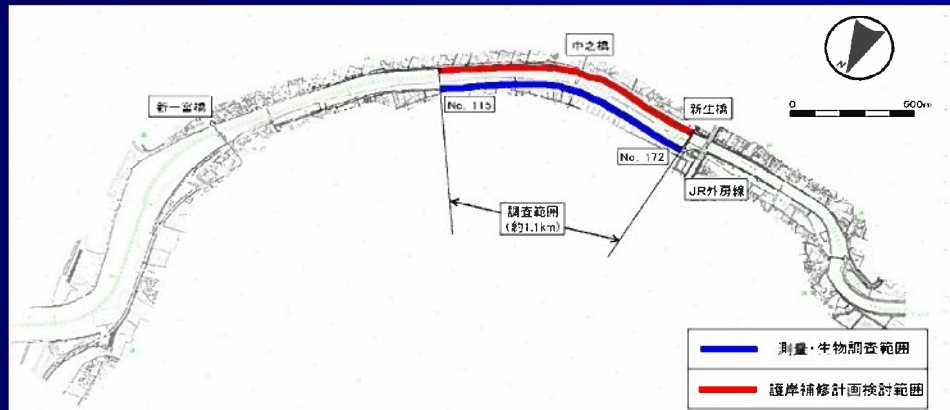
そこで、千葉県では上記の問題点を解決するためのシステム創りの為の準備部会を次年度より設置することを今回提案したいと考えます。

- 部会名：一宮川地域活動支援委員会設立準備会
- 構成：流域で活動を実施されている団体の代表者
流域市町村（総合的部署から）
流域委員会の中から御参加いただける方
両総土地改良区茂原支所
千葉県（長生地域整備センター）
- 開催頻度：3ヶ月に一回程度／長生地域整備センターにて
- 討議テーマ（本格的な討議は地域活動支援委員会で行い、準備会では委員会設立に向けての討議を主とする。）
- ① 住民相互及び官民の連携・協働し愛護活動が全域でできるような体制をつくる為の方策。（連携協働・情報共有）
- ② 川や環境のことを多くの人々に知ってもらい、住民と連携・協働できる人材を育成していく為の方策。（環境教育・利用活用）
- ③ 地域が積極的に活動に参加できる方策。（住民参加・制度研究）
- 期限：次回流域委員会（平成24年）の場で一宮川地域活動支援委員会の設立について採択をとる為の素案を提出する。

4. 環境調査結果の報告について

(1) 調査の目的

一宮川下流域の動植物の生育・生息状況および生息環境を調査し、河川整備による自然環境の保全・創出効果の検証に必要な基礎データを取得する。



ここからは、整備計画で目標としている『③環境の目標』(P.10) (河川の整備においては周辺の自然環境に配慮するとともに動植物の生育と生息環境の確保に努めます。) 項目から工事完了後3年を目途に環境調査を実施したので回復状況を報告します。

平成18年度に護岸整備が行われた中之橋付近の約1.1kmを対象として環境調査が行われました。

環境調査の内容は、主に植生調査と底性動物調査で、調査の時期は、9月中旬から下旬で、調査の目的は、河川整備による自然環境の保全・創出効果の検証に必要な基礎データを取得することです。

4. 環境調査結果の報告について

(2) 調査結果

a. 植物調査（調査日：平成21年9月24～25日）

①平成18年調査

- ・対象範囲=約3.2km
(新一宮大橋～松潟堰)
- ・確認種=65科253種



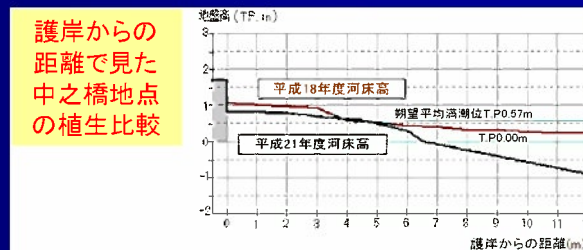
護岸補修工事
平成19～20年

②平成21年調査

- ・対象範囲=約1.1km
(前ページに示す。)
- ・確認種=25科112種

調査範囲が大きく違うことから確認種数を比較できないので、中之橋で植生分布状況を比較

護岸からの
距離で見た
中之橋地点
の植生比較



平成18年度調査	底質	草地	砂	砂泥	砂	砂泥
	植生	なし	ヨシ(少)	なし	なし	なし
平成21年度調査	底質	砂	砂泥	砂泥-軽石	砂泥	
	植生	草地	ヨシ(少)	ヨシ(密)	なし	



ヨシ

調査対象範囲を踏査し、生育する植物種を記録しました。

その結果、調査範囲が大きく違うことから単純に工事前後での確認種を比較できませんが、中之橋地点では平成21年度調査の方がヨシ群落などの草本群落が広く分布し、ヨシの草丈は1.2m～2.4m（平均1.8m）にも成長していました。

今後もヨシの繁茂、ヨシ原の拡大が期待できます。

4. 環境調査結果の報告について

(2) 調査結果

b. 底生動物調査（調査日：平成21年9月16～18日）

①平成18年調査

- ・対象地点=中之橋
- ・確認方法=目視観察
- ・確認種=9種



護岸補修工事
平成19～20年

②平成21年調査

- ・対象地点=中之橋及び調査対象範囲
- ・確認種=7種（中之橋）
=13種（調査対象範囲）

門名	綱名	目名	科名	種名	H18年度調査 (中之橋)	H21年度調査 (中之橋)	調査対象範囲
動物門	環形綱	中環足目	カウザンショウガイ科	カウザンショウガイ科の総称	●	●	●
動物門	多毛綱	サンゴカイ目	ゴカイ科	カウゴカイ属の一種	●	●	●
			イトゴカイ目	イトゴカイ科の一種	●	●	●
動物門	軟甲綱	端脚目	ハマトビムシ科	ヒメハマトビムシ属の一種	●	●	●
		十脚目	アナジャコ科	アナジャコ属の一種	●	●	●
			ベンケイガニ科	クロベンケイガニ	●	●	●
				アカテガニ	●	●	●
				ベンケイガニ	●	●	●
				ベンケイガニ科の総称	●	●	●
			モクスカニ科	アシハラガニ	●	●	●
				アサライガニ	●	●	●
			スナガニ科	チゴガニ	●	●	●
				コモシキガニ	●	●	●
				アリアケモドキ	●	●	●
3動物門	3綱	4目	7科	12種	9種	7種	13種

クロベンケイガニとベンケイガニ



調査対象範囲を踏査し、目視により底性動物を確認しました。

その結果、工事前後での確認種数はほぼ同じ結果となりました。

また、ヨシ原を主な生息場としている千葉県のレッドリストの一般保護生物であるクロベンケイガニ、重要保護生物であるベンケイガニも継続して確認することができました。

今後は調査対象範囲を拡大しながら、継続して植生や底性動物などの環境調査を実施する予定です。